JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	岐阜支部	(2)記載者氏名:	高木　基揚	会員番号:	8016	事務局整理記入欄			岐阜－7
分水嶺区分	W057パラソル峠　～1223m地点			(3)山行日:	2004年	11月	14日	(4)天候:	曇り時々晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

白木　貞次	5437	村松　哲彦	9702	岡田　清美	12679		
佐藤　正雄	7498	藤井　法道	11533	今峰　正利	12744		
村橋嘉一郎	7550	堀　　義博	11707	丹羽　邦夫	13021		
高木　基揚	8016	中島　眞一	11770				
						計	11名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	パラソル峠～村境界線分岐～1300m点～1252m点～1223m点												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:													
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分	経度E			緯度N			高度	所要	出発	道の	(8)～(11)の特記
			度	分	秒	度	分	秒	m	時間	時刻	状況	事項等との関係
歩行開始点	パラソル峠												
分水嶺到達点W057	〃												
③	村境界線分岐									0:35		B-3	
④	1300m点									0:20		B-1	
⑤	1252m点									0:55		B-1,B-2	
分水嶺離別点	1223m点									1:10		B-2	
歩行終了点	県道途中									1:05		B-2,A-1	
										総歩行時間(休憩時間を除く):			4時間05分
										総所要時間:			5時間02分

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

W057～③:植林帯の中のかなり濃密な笹薮。
③～分水嶺離別点:予期せぬことだったが、分水嶺に沿って作業用の切り開きがあり大助かり。途中切り開きが途切れたが、藪も薄く問題無く通過。
分水嶺離別点～県道へは尾根の藪の中を適当に下る。藪の濃さは大したことはない。

(9)水および植生に関連した特記事項

ずっと杉、桧の植林帯が続く。

(10)その他の特記事項

特になし

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
No.1　予期せぬ切り開きに大助かり。ペースも上がる。
No.2　切り開きがなくなっても植林界となっており判りやすい。この程度の藪なら我々は特に気にしない。

山行報告書（続き）
表面（1ページ目）に書ききれなかった事項を記入してください。

No.1　予期せぬ切り開きに大助かり。ペースも上がる。

No.2　切り開きがなくなっても植林界となっており判りやすい。この程度の藪なら我々は特に気にしない。